

くわな市議会だより

桑名のサンダル職人

桑名の履物(はきもの)づくりは、明治初期から続く地場産業です。

最盛期には日産約1,000足でしたが、近年では数百足ほどを生産しています。大手メーカーの大量生産商品や輸入品が増えています。桑名サンダルは手作りを守り、履き心地と素材のこだわりを重視しています。

写真は今売れ筋の「畳サンダル」。畳素材によるさわやかな肌触りが好評です。

目次

2	平成28年度当初予算が 決まりました
3~4	3月定例会の概要/ 議員別表決結果

5	総務安全委員会・分科会の概要
6	教育福祉委員会・分科会の概要
7	都市経済委員会・分科会の概要
8	予算の審査方法を見直しました ／高校生議会を開催します

9	代表質疑
10	代表質疑・議案質疑・一般質問
11	一般質問
13	桑名サンダル物語
14	桑名市議会からのお知らせ

平成28年度当初予算が決まりました

予算規模は過去最大

※1万円未満切り捨て

一般会計	517億9,279万円	前年比3.1%増
特別会計	321億2,277万円	前年比3.2%減
企業会計	124億8,026万円	前年比5.9%増
総額	963億9,583万円	前年比1.2%増

主な事業

※1万円未満切り捨て

- 桑名市土地開発公社解散代位弁済費 26億6,793万円
(土地開発公社を解散するための経費)
- 防災行政無線整備費 5,360万円
(津波、洪水被害の予想される地域へのデジタル同報系防災行政無線を整備するための経費)
- 新病院整備事業関係費 44億3,801万円
(新病院建設工事・医療機器等の整備に係る総事業費のうち、28年度の経費)
- 空家等対策推進事業費 619万円
(法で定める空家等対策の推進を図るための経費)
- スクールソーシャルワーカー活用事業費 275万円
(スクールソーシャルワーカーを学校に派遣し、専門的見地から諸問題等の解決を図るための経費)
- 桑名駅周辺施設整備事業費 1億8,000万円
(桑名駅自由通路・橋上駅舎化及び桑名駅東駅前広場を整備・再編するための準備経費)

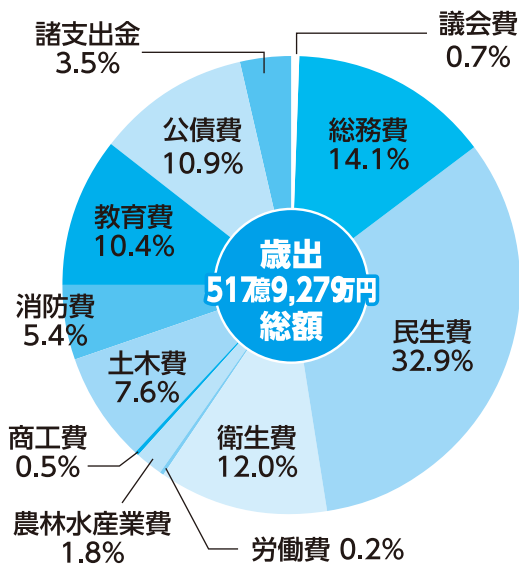


財政データ

※1万円未満切り捨て

市債残高(全会計) 947億1,056万円 (26年度決算より)
 財政調整基金 33億6,041万円 (26年度決算より)
 自主財源 262億9,830万円 (50.7%)
 依存財源 254億9,450万円 (49.3%)

一般会計の目的別内訳



用語解説

一般会計

市民からの税金を主財源に福祉、教育、建設など主要な行政運営に使う予算。

特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の目的のみで使う独立した予算。

企業会計

独立採算の水道事業や下水道事業に使う予算。

総務費

企画や広報業務、住民票の発行など市民サービスに使う。

民生費

福祉や子育て支援、生活保護などに使う。

衛生費

ごみ処理や予防接種など公衆衛生に使う。

土木費

道路や公園の建設や維持管理に使う。

公債費

市の借金にあたる市債の返還にあてる。

市債

財源不足を補うため、複数年かけて返済する債務。市の借金。

財政調整基金

急な財源不足の際に取り崩せるよう余裕のある年に積み立てておく市の貯金。

自主財源

税金や施設使用料などの市が自ら獲得する予算。

依存財源

国や県からの配分金や地方債。

3月定例会の概要



2月24日から3月24日までの30日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成28年度桑名市一般会計予算」のほか国民健康保険事業などの特別会計予算、水道事業会計などの企業会計予算、「桑名市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について」や「平成27年度桑名市一般会計補正予算(第7号)」など45議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、請願として「TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」など2件は不採択としました。

議員提出議案の「桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例の制定について」は可決し、「安全保障関連法の廃止を求める意見書」「TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書」は否決しました。

このほか、「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について」など5件の報告がありました。

平成28年第1回定例会 表決結果(賛否の分かれた議案)

区分	番号	件名	まちづくり戦略室				フォーラム新桑名			新志会			絆			桑風クラブ			桑名市議団	日本共産党	桑名市議員団	公明党	無党派	合計					
			伊藤研司	岡村信子	箕浦逸郎	小川満美	水谷義雄	松田正美	愛敬重之	倉田明子	伊藤真人	大橋博二	満仲正次	辻内裕也	飯田尚人	渡邊清司	富田 薫	中村浩三	南澤幸美	佐藤 肇	市野善隆	飯田一美	星野公平	石田正子	竹石正徳	畑 紀子	大森 啓	伊藤恵一	賛成
市長提出議案	第3号	平成28年度桑名市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3
	第4号	平成28年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3
	第5号	平成28年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	退	21	3
	第6号	平成28年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	退	21	3
	第8号	平成28年度桑名市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3
	第9号	平成28年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3
	第10号	平成28年度桑名市地方独立行政法人桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3
	第11号	平成28年度桑名市水道事業会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	退	21	3
	第12号	平成28年度桑名市下水道事業会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	退	21	3
第14号	桑名市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3	

平成28年第1回定例会 表決結果(賛否の分かれた議案)

区分	番号	件名	まちづくり戦略室				フォーラム新桑名			新志会			絆			桑風クラブ			桑名市議団	日本共産党	桑名市議員団	公明党	無党派		合計				
			伊藤研司	岡村信子	箕浦逸郎	小川満美	水谷義雄	松田正美	愛敬重之	倉田明子	伊藤真人	大橋博二	満仲正次	辻内裕也	飯田尚人	渡邊清司	富田薫	中村浩三	南澤幸美	佐藤肇	市野善隆	飯田一美	星野公平	石田正子	竹石正徳	畑紀子	大森啓	伊藤恵一	賛成
市長提出議案	第18号	桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	6
	第19号	桑名市職員給与条例及び桑名市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	×	×	○	○	○	×	15	10
	第20号	桑名市観光振興基金条例の制定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	退	21	3
	第22号	桑名市手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1
	第23号	桑名市子ども・子育て会議条例の一部改正について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	退	21	3
	第34号	市道の認定及び変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1
	第38号	平成27年度桑名市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	×	22	3
	第47号	平成27年度桑名市一般会計補正予算(第8号)	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	×	○	○	○	○	16	9
請願	第1号	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	退	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	-	×	×	×	○	○	×	×	○	○	7	17	
	第2号	「安全保障関連法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書	退	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	○	○	×	×	×	○	8	16
議員提出議案	第1号	安全保障関連法の廃止を求める意見書	退	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	○	○	×	×	×	○	8	16
	第2号	TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書	退	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	-	×	×	×	○	○	×	×	○	○	7	17	
	第3号	桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	24	1

※上記以外の27議案の表決結果は、全会一致

注1) 表決結果の表示について、賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」、退席の場合は「退」、欠席の場合は「欠」、除斥の場合は「除」と表示しています。
 注2) 議長は採決に加わらないため、「-」と表示しています。(絆 南澤幸美)

審査案件 委員会開催日:3月7日・9日〔審査件数:15件〕

- 議案第13号 桑名市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
- 議案第15号 桑名市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について
- 議案第16号 桑名市職員の退職管理に関する条例の制定について
- 議案第17号 桑名市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- 議案第18号 桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について ほか10件

主な質疑

桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正についてに対する質疑

Q 議員一人当たりの期末手当の増額幅は。

A 議長及び副議長を除く議員一人当たり、年間で約2万7千円の増額になる。

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第7号)所管部門に対する質疑

◆ パブリックリレーション事業費について

AQ 予算減額の理由は。

A 入湯税を財源に温泉地の活性化推進事業を予定していたが、実施できなかったため減額した。

Q なぜ事業を実施できなかったのか。

A どういった事業を行うか協議してきたが、財源の限界もあり、今年度は実施を見送った。今後は、基金を積み立てながら、事業の実施に向けて検討していきたい。

AQ ◆ 備蓄用物資購入入費について
予算減額の理由は。

A 長島地区において、小・中学校のプールの水を利用した浄化装置を4台購入予定であったが、予定していた県補助金が3台分しか交付されなかったことなどによるもの。

審査案件 分科会開催日:3月7日・9日〔審査件数:2件〕

- 議案第3号 平成28年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第5号 平成28年度桑名市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

主な質疑

平成28年度桑名市一般会計予算 所管部門に対する質疑

AQ ◆ ブランド推進事業費について
東京PR事務局の効果は。

A 東京に拠点を置くマスコミに対して情報発信や取材誘致を行い、メディア露出を増やすことで桑名の認知度やイメージの向上を図っている。今年度は昨年度以上のメディア露出があった。

Q 実際の効果についてはどう検証するのか。また、検証を含めた今後の継続についての方針はあるのか。

A 実際の効果を検証するにはかなりの費用がかかるが、一定期間経過後に効果の検証を行うかは、今後、費用対効果も考えつつ検討していきたい。

AQ ◆ 国際化推進事業費について
今後の海外パートナー都市提携に対する市の考えは。

A これまで国際化推進のための手段の一つとして海外パートナー都市提携を検討していたが、ジュニア・サミットという国際交流事業の誘致を契機に、市の国際化推進のあり方を全体的に再検討していきたいと考えている。

AQ ◆ 庁舎改修事業費について
消防本部庁舎前の緊急車両出动表示板を更新する必要性は。

A 緊急車両の出勤時、消防本部前の道路を走行する車両に対して注意を促す出动表示板は、設置の法的義務付けはないが、出勤時の安全確保と事故防止に有効なものだと考えている。

AQ ◆ 救急救命士関係経費について

Q 救急救命士の人数は。救急車の出勤に対して救急救命士が充足されているか。

A 現在、消防本部も含めて49名の救急救命士が在籍しており、平成27年中の搭乗率は桑名市内で96.39%となっている。

AQ ◆ 防災施設整備費について

Q 津波が桑名に届くまで1〜2時間の余裕があり、インターネット等で情報を得ることができると、費用対効果を考えると行政が防災行政無線を整備する必要はないのではないかと。

A 防災情報を市民に示すことは行政の責務だと考えている。

AQ ◆ 星見ヶ丘防災拠点施設の整備期間が当初説明より延びている理由は。

A 当初、緊急防災・減災事業債の活用を前提に平成27年度、28年度の2ヶ年で整備計画を策定したが、地域住民との対話を踏まえ、意見を取り入れながら整備していくため、事業期間を延長した。平成29年度以降については、国の動向を見据えながら財源確保に取り組みたい。

審査案件 委員会開催日:3月7日・8日〔審査件数:10件〕

- 議案第14号 桑名市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 議案第23号 桑名市子ども・子育て会議条例の一部改正について ほか8件

主な質疑

桑名市就学援助条例の制定に対しての質疑

Q 入学準備には費用がかさむが、支給されるのは年度が変わってからなので保護者が苦労しているという現状について何か考えはあるのか。

A 今のところ、予算の関係上、配当があつてから事務手続きを進め、6月中に支払っている。そういった意見もいただいております、今後の課題と受けとめている。

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第7号)所管部門に対する質疑

Q ◆ 保育管理費について

Q 保育所は人手が足りないと言いますが、予算が4,000万円以上余るのはどういうことなのか。

A 臨時保育士を募集しても、現場が希望するフルタイムではなく、パートタイム勤務の人が多い集まらないため、その人たちでつないでいる現状である。勤務時間が短いと時間単価も変わるため、大まかに21人分程度の減額ということになる。

Q ◆ 民間社会福祉施設等整備助成事業費について

Q ◆ 小規模多機能型居宅介護事業所の整備事業が辞退となったことに関して、予算をつけるまでの審査はどのようなものか。

A 資金計画等を審査し、事業内容のプレゼンテーションを受け、よりよい提案があつた事業者を選定したところだが、購入した建物の改修工事の設計見込みが甘く、補助金を活用しても事業開始後の採算が合わないため、辞退となった。辞退に当たっては、選定委員会が事業者から理由を説明させた上で委員会として辞退を承認する形を取っている。

審査案件 分科会開催日:3月7日・8日〔審査件数:5件〕

- 議案第3号 平成28年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第4号 平成28年度桑名市国民健康保険事業特別会計予算
- 議案第8号 平成28年度桑名市介護保険事業特別会計予算 ほか2件

主な質疑

平成28年度桑名市一般会計予算 所管部門に対する質疑

Q ◆ 養護老人ホーム費について

Q ◆ 清風園は社会福祉協議会が指定管理で運営しているが、民間ではできないのか。

A 清風園は生活困窮、その他虐待等により、在宅生活をできない方が市の措置で入所することから、事業者が入所者を選別できるわけではない。全国的には民間が運営する例もあるが、採算ベースに乗せるのは難しいと思つている。

Q ◆ 児童福祉費について

Q ◆ 認定子ども園は、近隣の弥富市ではやっているのに、本市ではなぜできないのか。

A 幼稚園の5歳児の義務教育化、施設は福祉部門での包括化という国の方針があり、その動向を注視し考える必要があるため、凍結という判断に至つた。

Q ◆ スクールソーシャルワーカー活用事業費について

Q ◆ いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動を改善するために導入することだが、いじめ防止対策事業費や教育相談事業などが類似しているように思う。例えばいじめがあつたときに相談すべき窓口がわかりづらくないのか。

A スクールソーシャルワーカー活用事業は、心理的アプローチではなく生活環境にアプローチをしていくという視点で、社会福祉の専門的な知識や技能をもって支援し、あるいは、福祉関係等の機関とネットワークを構築するものである。いじめ防止対策事業は、情報交換や市民啓発を行ういじめ問題対策連絡協議会や、子供の生命や財産に大きなダメージを与えるような、いじめの事例が起きた場合に調査を行ういじめ問題専門委員会を運営するための予算で、いじめに特化した役割である。教育相談事業は、保護者が抱える子育て上、教育上の悩みについて、電話や面接相談を行うものである。いじめに対しては、この三つ以外にも手を打っているが、深刻ないじめが起これるとも危惧し、重層的に対策を練って、受け皿を用意したいと考えている。

審査案件 委員会開催日:3月8日・9日・10日〔審査件数:13件〕

- 議案第20号 桑名市観光振興基金条例の制定について
- 議案第22号 桑名市手数料条例の一部改正について
- 議案第24号 桑名市深谷共同墓地条例の一部改正について ほか10件

主な質疑

桑名市観光振興基金条例の制定に対する質疑

AQ 基金の用途は。

当該基金は入湯税を積み立てるもので、現在入湯税をいただいている7施設周辺の道路整備などを含めた観光振興に充てていくものである。

平成27年度桑名市一般会計補正予算(第7号) 所管部門に対する質疑

AQ◆ 農地中間管理事業費について

12月に増額補正を行ったにもかかわらず今回は減額しているがその理由は。

A 補正後に国庫補助金の対象にならなかった地域があり、減額するものである。

AQ◆ 立地適正化計画策定事業費について

国庫補助金が2分の1程度に減額されたことによる事業費の減額であるが、策定は可能なのか。また、今後の計画は。

A 今年度は立地適正化計画の方針までを整理し、来年度以降は今後策定していく業務項目を精査していく予定である。

平成27年度桑名市市営駐車場事業特別会計補正予算(第1号)に対する質疑

AQ 一般駐車場使用料増の詳細は。

本年11月から新病院の建設工事に伴う来院者用の代替駐車場として、使用料199万円余の増額を行うものである。

平成27年度桑名市下水道事業会計補正予算(第3号)に対する質疑

AQ 北勢沿岸流域下水道維持管理等負担金の増額理由は。

A 1立方メートル当たりの単価が4円上がったことによる増額である。

主な質疑

平成28年度桑名市一般会計予算 所管部門に対する質疑

AQ◆ 塵芥処理費中 一般管理費について

AQ◆ ごみ収集業務の全面委託に対する考え方は。

下水道整備に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に基づき、平成16年度より合理化事業計画を策定し、処理業者が受ける影響の解消に向けた取り組みとして、ごみ収集業務の委託の支援を行っているところである。今後は定年退職等による職員の減少も考慮して平成29年度までに全面委託していきたいと考えている。

AQ◆ 空家等対策推進事業費について

平成28年度の事業の内容は。昨年10月から12月にかけて自治会に調査を依頼し、2,301戸の空き家があるとの報告を受けている。平成28年度は空家等対策協議会を設置し、利活用や取り壊し等の協議を踏まえ、空家等対策計画の策定を進めていきたい。

AQ◆ 集団・中継転住宅の整備手法と戸数について、どのように考えているのか。

A 土地については市が用意し、建物については民間が建設したもの、市が借り受ける手法を考えている。戸数については効率的で無駄のない範囲で一定戸数を借り上げることを前提に検討している。

平成28年度桑名市下水道事業会計予算に対する質疑

AQ コストキャップ型下水道事業に関する予算の詳細は。

桑名モデルとして、長期的な視点から民間活力の活用などによりコストの最小化に努めるとともに、業績指標を設定して、常に事業の適正化を図っていくことを念頭に、おおむね10年程度で下水道普及率90%を目指す方針である。平成28年度は実施設計等に要する費用として1億8,400万円を計上し、平成29年度より工事着手の見込みである。

予算特別委員会都市経済分科会

審査案件 分科会開催日:3月8日・9日・10日〔審査件数:5件〕

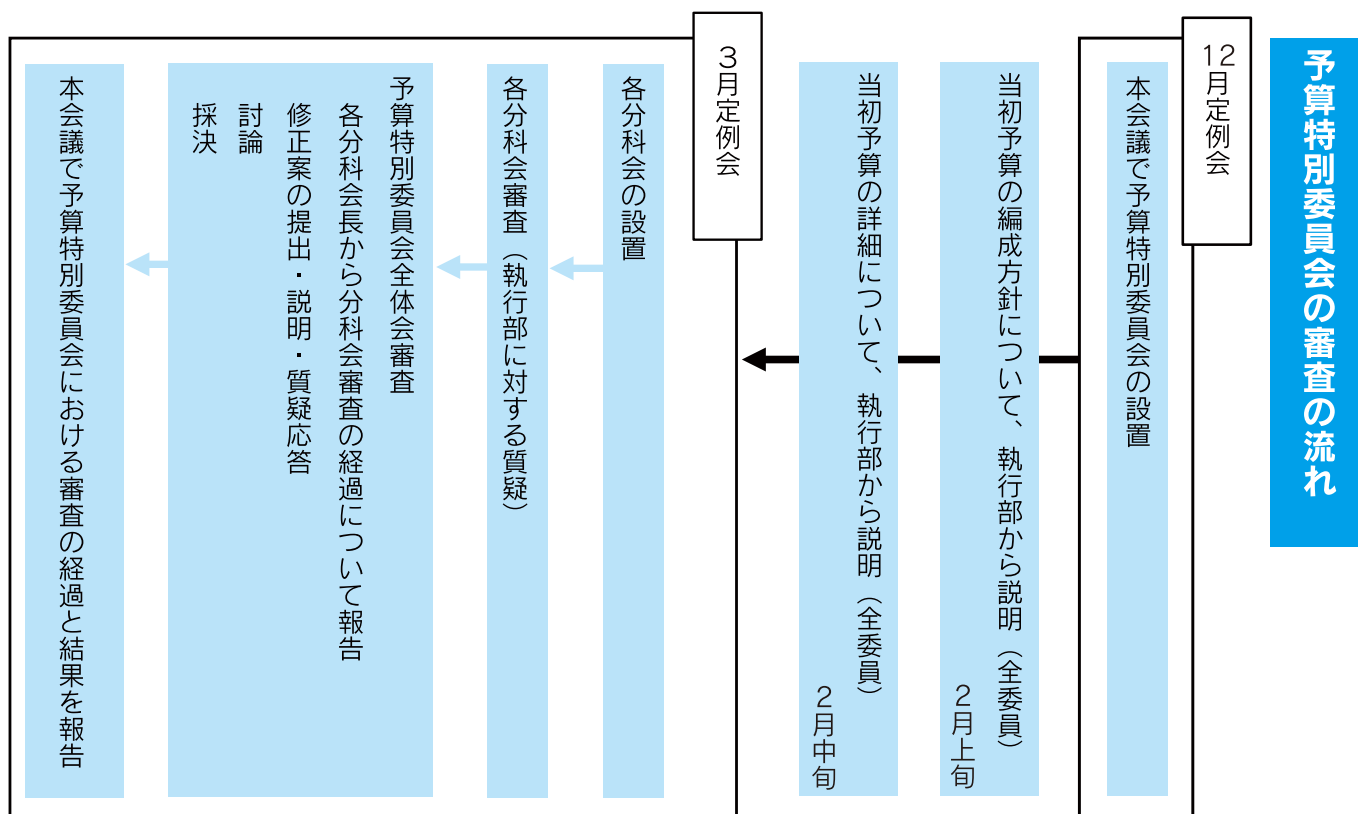
- 議案第3号 平成28年度桑名市一般会計予算 所管部門
- 議案第6号 平成28年度桑名市市営駐車場事業特別会計予算
- 議案第7号 平成28年度桑名市農業集落排水事業特別会計予算 ほか2件

予算の審査方法を見直しました!

桑名市議会では3月定例会から、議会改革の一環として、予算審査における議論の充実を図るべく、「予算特別委員会」を設置して当初予算の審査を行いました。

予算特別委員会は、議長を除く全議員で構成し、審査に当たっては三つの分科会（総務安全分科会、教育福祉分科会、都市経済分科会）を設置した上で、各分科会で詳細な審査を行います。また、各分科会に所属する委員は、各常任委員会（総務安全委員会、教育福祉委員会、都市経済委員会）の委員と同じです。

今回の分科会審査は4日間の日程で行い、全体会において全ての当初予算について原案のとおり可決しました。



高校生議会を開催します!!



桑名市議会では、選挙権年齢が18歳以上となったのを受け、高校生議会を開催します。

高校生が市の執行部側となり、自分たちが考えた事業を議案として提出し、市議会議員が質疑、採決を行うという、全国でも珍しい議会を桑名市で開催します。

みなさま、この機会にぜひ傍聴にお越しくください。

平成28年8月20日（土）
午前9時30分開会
場所・桑名市議会議場

代表質疑

フォーラム新桑名 松田 正美

◆文化事業開催費の減額について

質疑 毎年、秋から年明けにかけて展開されている市民文化祭の予算について、ここ数年の予算付けの現状を踏まえ市の考えを問う。

答弁 市民芸術文化祭は、日ごろ活動に取り組んでおられる方々がその成果を披露する場であり市の文化向上にとって重要な事業と認識している。

しかし厳しい財政を踏まえ委託経費の見直しをした。

再質疑 市の文化協会の委託費は25年度300万円、26年度270万円、27年度250万円、そして28年度は200万円と減額。生涯学習の視点からも、また地域包括の視点からも市のこうした姿勢はたいへん疑問と思うが？

再答弁 市の財政からして致し方ない。



まちづくり戦略室 伊藤 研司

◆子ども・子育て支援施策

「子どもを3人育てられるまち」にするために必要な施策は？ 岡山県奈義町の施策から。

質疑 私自身、これまでも公民館・地区市民センターを活用しての「子育てキッズ事業」や〈ぼかぼか〉での「子育て事業」の必要性を訴えてきた。

しかし、現実には子ども3人世帯はここ数年、少しずつ減少している。

非正規労働者の増加が原因と思われる。「子育てできるだけの給与+子育て支援施策」が必要と考える。

答弁 非正規や派遣などの雇用状況や低賃金での就労では、十分な子育てをすることは困難と思われる。

就労支援施策として、一人親家庭の保護者に対し、担当者がハローワークについていき、一緒に仕事探しを行うなど、自立に向けた支援を行っている。

新志会 飯田 尚人

◆市債の償還のピークとその金額について

質疑 平成26年度決算での地方債残高は538億4千万円で、今後予定の事業予算総額475億4千万円を加えると市債の合計が1,013億8千万円になるが、その償還のピークとその金額について問う。

答弁 臨時財政対策債を20億円発行するという前提で新病院整備に係る病院事業債、駅西土地区画整理事業、駅周辺整備事業の現時点での計画額を含み償還額のシミュレーションを行った結果、向こう10年では平成31年度の償還額が68億640万円余と最も高くなり、総予算に対する割合は28年度の一般会計と比較すると13.1%強となるところである。

これ以降、平成30年代は65億円前後の償還が続くことを予想している。

絆 渡邊 清司

◆市長の政治姿勢について

質疑 市長の任期を迎えるにあたって。

答弁 子ども安心・安全見守り訪問や高齢者見守りネットワークに関する協定、総合医療センターの整備、小児・周産期医療の合意書の締結、デジタル同報系防災行政無線の整備、コストキャップ型の下水道整備。多子世帯の中学生の通院医療費の無料化、くわなっ子育てサポーター制度の実施、ジュニアサミットの開催、国道一号線伊勢大橋の着工など実施している。

また、「桑名市総合計画」を策定し、それに基づく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めた。残りの任期を全うすべく様々な政策推進に努める。

日本共産党桑名市議団 石田 正子

◆予算と行財政改革について

質疑 (1) 予算編成に当たっての景気動向及び社会情勢の受け止め方について。(2) 市の財政運営での問題点は。(3) 行財政改革で何をめざすのか。

答弁 (1) 平成28年度当初は平成27年度との比較で予算総額は増額になっているが、一般財源ベースでは3億3千万円の削減を達成。(2) 高い経常収支比率と財政調整基金をはじめとする現金残高の減少がある。市民に極端な影響を与えないように配慮しつつ精査を行った。(3) 本市では、少子・高齢化が進む中、人口構成の変化に伴い、公共サービスに対する市民ニーズは多様化・高度化し、行政だけで市民の満足できるまちづくりは困難になってきている。すべての関係者と行政が力を合わせ様々な課題解決に取り組むよう、更なる行財政改革を進める。

桑風クラブ 市野 善隆

◆ジュニア・サミットと基盤整備について

質疑 環境・道路整備等不十分で迎えるのか。県道の適切な環境整備・維持管理もされていない。

答弁 適切な維持管理が必要なため、県へ強く要望する。

◆予算と市民・団体との関係について

質疑 補助金削減やイベント等の中止は、市政運営・市民生活への影響は大きい。この状況で市民・団体と行政間の関係構築のために何をなすべきか。

答弁 関係者へ丁寧な説明に努めていきたい。

再質疑 市民・団体と市長・副市長が面会して協議の場の設置や、積極的現場・傾聴・対話主義により、市政運営をすべきではないか。副市長の所見は。

再答弁 ご指摘については受け止めていきたい。

再質疑 受け止めるだけではなく実行するのか。

再答弁 今後、実現・推進を図っていきたい。

まちづくり戦略室 箕浦 逸郎

◆教育環境について

質問 今後の学校再編についてどのように進めるのか。

答弁 学校教育あり方検討委員会で施設面等の事も含めて審議をしていただき、教育委員会に答申をいただく。その内容をもとに全庁的な組織を立ち上げ、学校再編の具体的な取り組みを示していく。

◆下水道経営について

質問 普及率90%に向けて今後整備する部分に関しては人口密度も低く採算が合わないのではないか。

答弁 桑名市の全体計画処理区域を1つのエリアと考える事業計画・事業費を算定しているため、今後の対象地域が事業費に見合った人口密集地であるのかとか、採算が合うのかといった考えで判断すべきものではないと考える。

新志会 満仲 正次

◆桑名市土地開発公社の解散について

質疑 ①市が負担する公社の債務総額はいくらか。

②債務総額中、買い取り用地費と支払利息の額は。

③市に移管される土地の取り扱いについて。

答弁 ①三セク債の対象とした土地は、伊賀町江場線、江場安永線、駅西土地区画整理事業の一部、小山公共用地、桑部播磨線、多度第二工業団地、蓮花寺第4次用地の合計7事業用地で、債務総額は26億6,793万円9千円である。

②7事業用地に係る取得費は約22億3,525万円、利息は約4億3,269万円である。

③三セク債の対象とした土地の中には、県道用地もあり、事業計画がある土地については早く進めると共に、無い土地については、売却や貸付等を行い、三セク債を償還する財源の一部に充てていく。

一般質問

絆

中村 浩三

◆給食の栄養価実測について

質問 栄養価について食品成分表からの計算値と料理を実際に測った実測値が違うとの報告がある。実測したほうがよいのではないか？

答弁 今後試行していきたい。

◆市内企業の動向について

質問 開業・廃業の状況と事業所数増加への取り組みは。

答弁 ハローワーク桑名管内で雇用保険新規適用事業者数(開業率)は、平成23年度は120(4.0%)、平成24年度は154(5.2%)、平成25年度135(4.6%)。雇用保険廃止脱退事業所数・廃業率は、平成23年は151(5.1%)、平成24年度186(6.3%)、平成25年度は127(4.3%)。桑名市単独の創業支援施策としては、中心市街地の空き店舗に入居する際の家賃補助が受けられる「空き店舗対策事業」がある。

フォーラム新桑名 愛敬 重之

◆自転車専用レーンの設置について

質問 朝の通勤通学時間帯では、駅西周辺道路は道路交通法違反の自転車を含め数多く走行している。蛸塚益生線完成時の自転車専用レーンの必要性について。



答弁 イヤホン装着走行及び右側走行のルール違反もあり自転車関連事故の割合は増加傾向にある。道路交通法の改正も受ける中、関係機関を含め自転車専用通行帯の検討を行っていく。

◆2016年ジュニア・サミットin三重について

質問 「討議に資する視察先」までのハード整備は。

答弁 県道7号線の道路拡幅整備について道路管理者である三重県に対し要望している。視察場所周辺についても施設管理者、NPO団体等も入り清掃活動を実施する。

公明党桑名市議員団

畑 紀子

◆子どもの貧困対策について

質問 本市の取り組みについて。

答弁 就労に向けた資格取得の際の給付金支給、一時的にサポートが必要な場合の日常生活支援事業がある。

再質問 国は、支援を必要とするひとり親が行政窓口で確実につながるようワンストップで寄り添い型支援を行うとのことだが、本市のひとり親家庭の窓口ワンストップ化について問う。

再答弁 本市では、子ども家庭課において様々な相談を受けており、必要に応じて関係機関と連携した対応を行っている。国は、ひとり親支援情報を一元的に集約したポータルサイトを4月から立ち上げるが、本市の情報についても準備をしているところである。
これからも支援を必要としている方に、必要な支援、必要な情報を適切に行うよう努めていく。

日本共産党桑名市議員団 星野 公平

◆地方創生の「総合戦略」について

質問 これで「人口ビジョン」の実現は可能なのか。

答弁 「総合戦略」は5年間の計画であり「人口ビジョン」は2060年までの人口を推計したもの。期間に違いがあり、この「総合戦略」に基づいた取組みのみで人口が123,385人になるものではない。

◆「データヘルス計画」(国民健康保険の保健事業実施計画)について

質問 子どもは喘息、大人は糖尿病、後期高齢者は腎不全(人口透析と糖尿病)が多く、問題のようだ。対策はここを中心に考えていくべきではないか。

答弁 喘息については、喘息を悪化させる遠因と言われる家族の喫煙率を下げる対策として、親子健康手帳発行時に啓発を行う。糖尿病については2016年度から重症化予防に取り組んでいく。

一般質問

まちづくり戦略室 水谷 義雄

◆桑名市のいじめについて

質問 現在の桑名市小中学校で、どのような内容のいじめがあるのか。

又その把握されている件数等について、そして対策についてどのようにされているのか。

答弁 平成27年度4月から9月までの前期におけるいじめの認知件数は、小学校で56件、中学校で31件です。小中学校ともに「ひやかしやからかい」が最も多く、次いで小学校は「ひどく叩かれる」、中学校は「携帯電話等で中傷される」が多くなっている。認知したいじめについては保護者と連携を取りながら、担任等の一部の教師で抱え込むことなく、組織的に対応し、早期解決を図るとともに、いじめが収束した後も、継続した見届けを大切にしている。

無会派 伊藤 恵一

◆マイナンバーとは何か!!

質問 安倍政府が侵略のための軍事費と情報を得る為では。

答弁 行政を効率化、国民の利便性向上、公平公正な社会を実現する社会基盤と考える。



再質問 アウシュビッツで6804番、15670番等ユダヤ人の腕に入墨されたが、番号変更は可能か。又「パソコンでナンバーはわかる」との証言から情報保護ゼロでは。

再答弁 変更はカード盗難時等に可能で、個人情報保護、ろうえい防止は国、市において各々取り組んでいる。

◆2月三重に関東・東北から430人が放射能避難登録

質問 避難できない方に保養の場提供や補助金で応援を。

答弁 保養の場は重要で実施団体へ支援をしていきたい。

絆 富田 薫

◆こどもを3人育てられるまちについて

質問 市長の7つのビジョンの中の一つ『こどもを3人育てられるまち』は良いビジョンであると考えますが子育ての具体的な支援策はどのようなものか？

答弁 子育て支援サービスの充実、子どもの安全な居場所づくり、地域での子育て支援等の取り組みを行う。

再質問 特殊出生率の高い他の町(伊仙町2.81人・奈義町2.81人・下條村1.86人)では『出産祝い金』『入学・就学支援金』『医療費補助』『給食費』などの経済的支援が行われているが、たとえば『出産祝い金』をこれから生まれてくる子ども達のために支援する計画はないか？

再答弁 『出産祝い金』については平成22年度に児童手当の拡充に伴い廃止した。今後も実施する予定はない。

フォーラム新桑名 伊藤 真人

◆行財政改革について

質問 市民にわかる数値目標の必要性について。

答弁 人口・財政・社会情勢等の変化にも敏感に対応し、適切な数値目標を設定できるよう見直しを進める。

◆子どもの貧困対策について

質問 SOSを発することの出来ない子どもの把握は。

答弁 県の計画に沿って継続的に取り組み、関係機関と連携して把握に努める。

◆スポーツ振興について

質問 三重国体や東京オリンピックを見据えた施策について、ジュニア世代の強化・育成が必要では。

答弁 具体的な取り組みはないが、子どもが日常的に運動する機会を増やす取り組みが必要と考えている。

質問 ふるさと応援寄付金の項目に「スポーツ振興」を。

答弁 納税者の選択肢を広げることは重要である。

一般質問

まちづくり戦略室 岡村 信子

◆駅東西自由通路・橋上駅舎等から

質問 東西自由通路等は断固反対。市民サービス直結の福祉・教育・安心安全の予算を大幅削減して自由通路等は許さない!更に市長は新医療センターまで「上空通路を繋ぐ」との発言。自由通路・橋上駅舎・上空通路で110億円以上は言語道断!!副市長は市長の思いを実現したい考え。市長の為の市政ではない!市民・現場の職員の声を聞け!真意を!

答弁 自由通路の整備にあたり平成28年度予算として工事ヤード確保等で1億円の予算を計上した。上空通路に関し医療センターからの要請はない。

再質問 上空通路について議会・市民を納得させる奇策はないはず。副市長の職責は何か?副市長、答弁を!

再答弁 庁内では何ら議論はされていない。副市長の職務は市長の思いを実現すること。

まちづくり戦略室 小川 満美

◆養老鉄道養老線の今後について

質問 3月1日の近鉄との会談で、養老線存続のため、新しい事業形態へ移行すると聞いた。

- ①今後の桑名市の年間負担額はどれくらいか。
- ②今後、国・県の支援が見込めるのか。
- ③市の考えは。

答弁 ①公有民営方式で存続の場合1億350万円になる。
 ②鉄道施設の所有が近鉄から移行すれば、さらに国の補助金が受けられる。岐阜県からは、県独自の補助金が交付されている。新たな補助制度の構築など、国・県へ支援を要望していく。
 ③新しい事業形態、支援体制を構築して養老線を存続することになるため、沿線市町は費用やリスクを同等に負担していく覚悟を持つべきと考える。桑名市の負担をできる限り軽減できるよう協議に臨む。

桑名サンダル物語 ~サンダルができるまで~



①材料は、古くは市内で生産もされていましたが、今ではメーカーから買い取ることが多くなっています。



③天板と底に接着剤を塗り、乾燥させてから貼り合わせます。



②天板(中敷)に鼻緒を通し、接着剤で留めます。サイズや履きやすさ等を考え、積み上げてきた経験で微妙な調整が必要です。



④圧着機で押さえてキズが無いかチェックします。

完成!

桑名市議会からのお知らせ

6月定例会 開催日程(予定)

6月定例会が、6月14日(火)～7月4日(月)の21日間の予定で開催されます。

- 6月14日(火)
本会議(議案上程・提案説明)
- 6月20日(月)～23日(木)
本会議(議案質疑・一般質問)
- 6月24日(金)～27日(月)
常任委員会
- 7月4日(月)
本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)

本会議・委員会の放映について

右の手順により、インターネット放映をご覧ください。ありがとうございます。

桑名市議会 トップページ

「市議会インターネット映像配信」をクリック

「市議会インターネット映像配信」
<http://www.kuwana-city.stream.jfit.co.jp/>
をクリック

※ご使用の環境によりご覧いただくことができない場合があります。
※アップル社のパソコンをお使いの方は、「フリップ4マック」をインストールする必要があります。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。日程はこの市議会だよりや市議会のホームページに掲載しています。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえ、お気軽にお越しください。



議会活動状況報告

※定例議会中の定例議会にかかる会議は省略しています

3月

- 15日 広報広聴委員会
- 25日 議会改革検討会

- 21日 東海市議会議長会第271回理事会・第99回定期総会
- 28日 総務安全委員会

4月

- 5日 広報広聴委員会
- 11日 都市経済委員会
北勢5市の市長・正副議長懇談会
- 12日 教育福祉委員会・協議会／各派代表者会議
- 13日 総務安全委員会・協議会
- 19日 議会報告会班別会議・班長会議
- 20日 広報広聴委員会

5月

- 9日 全員協議会／広報広聴委員会
- 11日 都市経済委員会
- 13日 全国自治体病院経営都市議会協議会第74回理事会・第44回定期総会
- 18日 教育福祉委員会
- 23日 桑名・員弁広域連合議会臨時会
議会報告会(市民会館・多度町総合支所)
- 25日 議会報告会(大山田公民館・長島町総合支所)
- 31日 全国市議会議長会第92回定期総会

委員長
副委員長
委員

広報広聴委員会

星伊市松畑中箕満倉
野藤野田村浦仲田
公惠善正紀浩逸正明
平一隆美子三郎次子

この夏は、桑名産サンダルを履いて出掛けてみませんか。

今回はサンダルを作っている製造元を訪ねました。昔ながらの家内工業で、出来上がったサンダルからは手作りならではの温かみを感じることができました。

編集
後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

お問い合わせ

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話: 0594-24-1304 / 0594-24-1305
FAX: 0594-24-1359
メールアドレス: gikaijm@city.kuwana.lg.jp

〈発行〉桑名市議会 〈編集〉広報広聴委員会

市議会の詳しい情報は桑名市議会のホームページをご覧ください。

桑名市議会

検索